

1 本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

（1）学校の現状や課題

- 1）本校の総合学科は、生徒の進路希望を実現するために、人文・社会科学、自然科学、芸術・文化、生活・福祉、ビジネス会計の5つの系列を設定し、生徒のニーズにあった選択と専門性の深化を図っています。
- 2）本校の農業科学科は、県内屈指の複合農業地帯である横手・湯沢地区を支える人材を育成するために、作物、果樹、野菜、草花の4つの部門を設定し、専門的・実践的に学習しています。
- 3）総合学科、農業科学科ともに、多様な進路に対応するためにキャリア教育、体験活動等の充実を図り、進路目標を実現できるようにする必要があります。
- 4）本校はおおらかで優しく純朴な生徒が多いのが特徴です。社会が急激に変化し予測困難な時代を生き抜くために、主体的・対話的で深い学びの視点から組織的かつ継続的に授業改善を図るとともに、個別最適な学びや協働的な学びをとおして学力の伸長を図り、生徒一人一人の可能性を引き出して自立に向けた資質・能力を育む必要があります。

（2）学校を取り巻く将来の状況の予測

- 1）地域の人材や資源を生かした地域力の向上や地域コミュニティの活性化など、横手・湯沢地区を支えるため、本校への期待が今後さらに高まることが予想されます。
- 2）横手・湯沢地区の中学校卒業予定者は今後も減少していくことが予測されています。第七次秋田県高等学校総合整備計画（後期計画）では、本校は雄物川高校、平成高校とともに再編整備構想の対象となっているため、3校の統合を見据え地域を活性化し発展に寄与できる人材を育成する学校づくりをより一層進めていく必要があります。

（3）目指す学校像及び生徒像

1）【目指す学校像】

「元気な増田高校」：ふるさとを愛し、たくましく生きる力を備えた心豊かな人間を育成する学校

2）【目指す生徒像】

- ①心身ともに健康で、思いやりのある心豊かな人間
- ②自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動できる人間

- ③望ましい職業観・勤労観を身に付け、郷土の発展に貢献する人間
- ④社会の変化に柔軟に対応し、21世紀をたくましく生き抜く人間

2 5年間で達成を目指す具体的目標（具体的な取組等）

（1）【総合学科】

- 1) 進学希望達成率60%以上を目指します。
- 2) 大学入学共通テストを活用した入試の他、総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試等、多様な評価尺度を重視した入試を積極的に活用し国公立大学進学者数5人を目標とします。
- 3) 就職希望者の県内企業への就職率75%以上を目指します。

（2）【農業科学科】

- 1) 農業関係先への進学率及び就職率計40%以上を目指します。
- 2) 農業系大学進学率10%以上、うち国公立大学進学者数2人を目標とし、地元に戻って貢献できる人材を育成します。
- 3) 就職希望者の県内企業への就職率75%以上を目指します。

（3）【部活動（クラブ活動）】

- 1) 運動系部活動を強化します。硬式野球部、陸上競技部、男子バレーボール部をはじめ、複数部のインターハイ等全国大会出場を目指します。
- 2) 文化系部活動を強化します。全国高校総合文化祭代表やコンクール等各種大会での入賞を目指します。また、地域との交流・連携を通して地域文化の発展に貢献します。
- 3) 日本学校農業クラブ全国大会の優秀賞1人以上または団体の入賞を目指します。

（4）【教員の資質能力】

- 1) ICT機器を活用した授業改善を推進するとともに生徒の個別最適な学びや協働的な学びを実現する資質能力の向上に努めます。
- 2) 特別支援教育に関する研修の充実を図り、支援が必要な生徒にきめ細かく対応できる資質能力の向上に努めます。